

痴ほう性老人 上手なお世話講座

市と新津保健所では「痴ほう性老人上手なお世話講座」を開催します。ぼけは、老いとともに避けて通ることのできない問題です。この講座で「ぼけとは何か」「ぼけを楽に介護するためにどうしたらよいか」を考えてみましょう。

カルチャーセンター スポーツ教室

カルチャーセンターでは、市民の健康づくりのために軽スポーツを中心とした、次の各種教室を開きます。

●婦人のための初級トレーニング教室(5回コース)
□とき 10月30日(火)、11月6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火) 午前10時～11時30分

大野三・八市に 来られる皆さんへ

市のとき、駐車場として利用していた児童交通公園が、中ノ口川築堤および護岸工事中

午後3時30分～4時30分
対象者 4・5歳児と母親20組(先着順)
各教室いずれも
カルチャーセンター
申込み締め切り 10月25日(木)
申込先と問い合わせ カルチャーセンター(☎373・6311)

親子16ミリ映画 無料鑑賞会

親子で一緒に映画を楽しみませんか。当日直接カルチャーセンターへおいでください。
□とき 9月30日(日) 午後2時～4時
□対象者 幼児・小学生とその親
カルチャーセンター(☎373・6311)

環境汚染防止に 協力ください

県では、人の健康に影響を及ぼす恐れのあるトリクロロエチレン等による環境汚染防止のため、汚染防止対策要綱

「相談」 ください

●法務行政特設相談所
相談は無料で、秘密は固く守られます。
□とき 10月4日(木) 午前10時～午後3時
□場所 産業厚生会館

締め切り迫る! NHKのど自慢公開生放送 出場者・入場者を募集

市制施行30周年を記念して「NHKのど自慢」公開生放送が行われます。その出場者と入場者を募集しています。

NHKのど自慢公開生放送
10月14日(日) 午前11時開場
カルチャーセンター
ゲスト 鳥羽一郎、牧村三枝子
司会 吉川精一・アナウンサー

●出場を希望する人は
往復はがきに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号・歌う曲目を記入し、申し込みください。
□出場者年齢制限 16歳以上の人
□定員 300人(応募者多数の場合は抽選)
□予選会 10月13日(日) 正午～(予定) カルチャーセンター
●入場を希望する人は
往復はがきに、住所・氏名・電話番号を記入し、申し込みください。(応募者多数の場合は抽選)
以上の「応募先」NHK新潟放送局「のど自慢」出場係または入場係(〒951 新潟市川岸町1の49)
□応募締め切り 9月20日(木)(必着)
なお、予選会は自由に入場できます。



●行政、人権、農業、福祉の合同相談所
問題解決のお手伝いをします。相談は無料で、秘密は固く守られます。
□とき 10月19日(金) 午前10時～午後3時
□場所 産業厚生会館

●健康相談
電話でもご相談ください。
□とき 10月8日(月) 午後1時～3時
□場所 保健センター

●交通事故相談
相談を受ける人は、事前に民生委員、農業委員
□問い合わせ 総務課行政係(☎373・341)

●税務相談
□とき 10月15日(月) 午前10時～午後3時
□場所 市役所2階・市民相談室

大風合戦立体ビデオ試写会とNHKパネル展を開催
のど自慢本番当日は、大風合戦立体ビデオの試写会やNHKパネル展も行われます。入場整理券がなくてもご覧になれます。
□以上の問い合わせ NHK新潟放送局放送部(☎230・1622)

長寿番付 9月1日現在 同年齢は生年月日順

Table with columns for age groups (東, 寿, 西, 庚) and names/addresses. Includes names like 山崎興野, 桑原ヨシ, 横垣, etc.

市内最高齢は 渋谷ハツさん(98歳・山崎興野)

九月十五日は敬老の日。平成二年の本市の最高齢者は、昨年に引き続き渋谷ハツさん(山崎興野・九十八歳)で、男性の最高齢者は阿部三代治さん(横垣・九十四歳)でした。
八月一日現在の本市の人口は三万六千二百六十五人。そのうち六十五歳以上の高齢者は五千二百二十一人(男性二千四十二人、女性三千七十九人)でした。これは市の人口の一四・四%に当たります。これを昨年と比べると、人数で二百十人、割合では〇・四ポイント多くなっており、徐々に高齢化が進んでいるといえます。
平均寿命が八十歳を超えた今、余暇の充実や健康の増進など、ライフスタイルの見直しが叫ばれています。また、寝たきりや痴ほう、老人の一人世帯、さらに年金制度など、高齢化に伴う問題も少なくありません。しかしその一方で、スポーツやボランティア活動などに元気で活躍するお年寄りの話題が、数多く報じられています。お年寄りの豊富な経験や知恵を、埋もれさせることなく伝承し、お年寄りが生きがいを持って暮らせる社会にしていきたいものです。